



## 本校110年のあゆみ

- 明治36年(1903年)  
4・15 北海道函館商業学校長神山和雄個人にて同校校舎の一部を北海道庁より借受け、私立函館商業補習学校を設立し、夜間補習教育を行なう。
- 明治39年  
4・1 北海道庁に移管され、北海道庁立函館商業補習学校となる。
- 明治40年  
8・25 区内大火のため、校舎全焼す。  
10・7 住吉小学校旧校舎(青柳49)を借受け、授業を再開す。
- 明治41年  
10・30 元町の新校舎一部落成し、移転する。
- 明治44年  
5・3 小学校の改正に義務教育年限の延長にともない(4年より6年)校則の一部を改正し、修業年限を2カ年より1カ年とす。
- 大正10年(1921年)  
4・13 区内大火のため、校舎全焼す。  
4・28 弥生小学校(富岡23)にて授業す。
- 大正11年  
4・1 新実業補習学校規定に準拠し、規則全部を改正し、修業年限を前期2カ年、後期2カ年と定め、前期の入学資格は小学校卒業者、後期は前期もしくは高等小学校2カ年卒業者とした(夜間乙種実業学校)。  
7・7 五稜郭の新校舎落成し、同年7月22日庁立函館商業学校は移転したが、補習学校は交通事情を考慮し残留する。  
9・1 仮教室を弥生小学校内に定む。
- 大正12年  
10・15 宝小学校内(宝町33)に移転す。
- 昭和3年(1928年)  
4・6 函館市函館商工実修学校開設され、同校商業部に移管する。庁立函館工業学校内(新川町285)に付管す。修業年限を予科1カ年、本科2カ年、高等科1カ年とし、別に専修科を設け1カ年とした。
- 昭和5年  
9・1 新川小学校(新川町4)に移転す。
- 昭和9年  
3・21 市内大火のため、校舎類焼す。  
4・14 弥生小学校内(富岡9)に移転す。
- 昭和10年  
8・1 青年学校令、青年学校規定の公布にもとづき、函館市立商工青年学校と校名を改める。修業年限は普通科2カ年、本科3カ年、研究科1カ年、専修科3カ年乃至1年とした。
- 昭和11年  
1・13 新設の青柳小学校内(青柳町49、旧住吉小学校)に移転す。
- 昭和15年  
4・ 商業部主任堀口剛郎、工業部主任村田専三郎、公立青年学校函館実修女学校(旧函館市立女子商業部)主任松庭玄一郎と相図り、甲種実業学校への昇格に関する申請書準備を開始す。
- 昭和16年  
2・26 函館市立商業学校設置について、函館市議会の決議を得る。



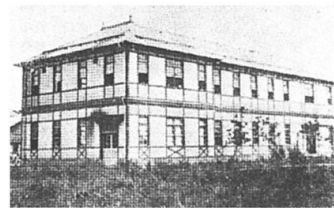
明治42年落成の新校舎



明治41年に制定された校印



商業補習学校第20回卒業生(大正13年)



函館商工実修学校校舎



市立商業学校時代